プレスリリース

令 和 7 年 5 月 20日
健康福祉部健康福祉企画課

報 道 関 係 者 各 位

# つつが虫病（四類感染症）の発生について

庄内地域の医療機関から庄内保健所に、つつが虫病発生の届出がありました。
令和７年度の県内初発事例となります。
気候も暖かくなり、薄着で山でのレジャーや田畑での作業をする機会が多くなりました。
こうした際のつつが虫病の感染を予防するため、注意喚起に御協力くださるようお願いします。

## １　今回発症事例の概要

| | |
|---|---|
| 患　　者 | 庄内地域在住、60代、女性 |
| 発 病 日 | 令和７年５月３日（土） |
| 届 出 日 | 令和７年５月20日（火）【今年度県内初発】 |
| 主 な 症 状 | 発疹、倦怠感、刺し口、下痢、嘔吐、ふらつき、下血 |
| 患者の経過 | ・令和７年５月９日（金）医療機関を受診し、入院。<br>・令和７年５月16日（金）検査の結果、つつが虫病と確定。<br>患者は現在も入院中。<br>※　患者は、発病以前に複数回、入山し山菜取りを行っていた。 |

## ２　つつが虫病について

・ツツガムシ（ダニの一種）の幼虫に刺されて感染する。潜伏期間は５～14日。
・38～40℃の高熱、全身倦怠感、寒気、頭痛などの風邪様症状が伴う。発熱後２～５日後にほぼ全身にわたって赤い発疹が現れ、刺された部位（刺し口）の近くのリンパ節が腫れる。
・季節的には春から初夏にかけて最も多く発生するが、秋にも発生がみられる。

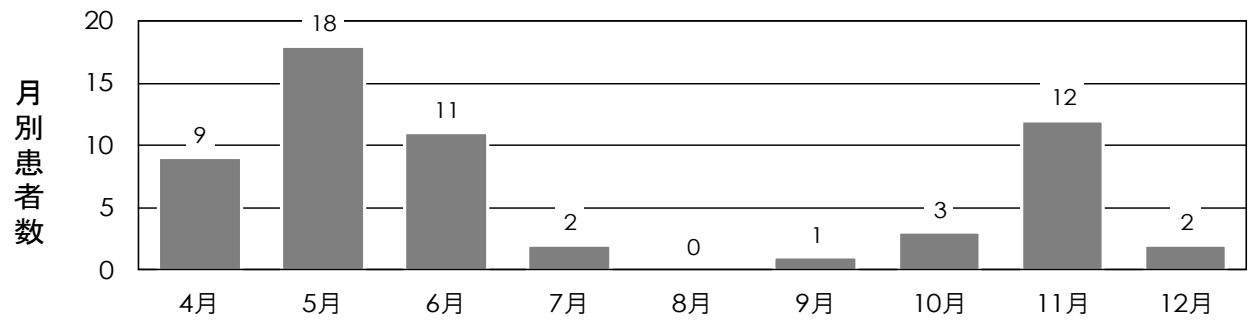
**県民のみなさまへ**

**山や田畑で作業をする際には、下記のことに御注意願います。**

**（１）ツツガムシは田畑、山林、やぶ、河川敷などに生息しています。農作業、山菜採り、レジャーなどで、このような場所に立ち入る時には次のようなことに御注意ください。**
**①長袖、長ズボン、長靴、手袋等を着用し、素肌を出来るだけ露出しない。**
**②ダニ忌避剤、防虫剤を衣服に散布する。**
**③帰宅したら早めに風呂に入ってダニを洗い流す。また、衣服の洗濯を行う。**

**（２）治療が遅れると重篤になる場合があります。ツツガムシの生息していそうな場所に立ち入ってから５～14 日後に上記の症状が出た場合は、早期に医療機関を受診し、それらの場所に立ち入ったことを医師に話すことが大切です。**

＜参考＞過去10年（H27～R6）のつつが虫病月別発生状況　　（単位：人）




問合せ先　山形県健康福祉部健康福祉企画課
課長補佐　濱本　幸樹　023-630-2292
広 報 監　健康福祉部次長　　菅原　正春